

平成29年度

岩手県学生会館(岩手学生寮)会報

会館だより

第3号

岩手県学生会館

平成29年7月7日
発行

新代表からのメッセージ

洋々たる未来への躍進を

公益財団法人岩手県学生援護会 代表理事 志賀 節



私は岩手の大先輩が築いて下さった荣誉ある公益財団法人岩手県学生援護会の代表理事にご推挙をいただいた、志賀節です。

父、志賀健次郎は東磐井郡大東町大原生母、美子よこは胆沢郡金ヶ崎町と、皆さんと同じ岩手の血を持って私は生まれました。

そして、郷里岩手の代表として、沢山の方達の温かいご支援を受けて国政の場で長きにわたり働かせていただきました。

私は、「初心生涯」(座右の銘)を胸に岩手県人としての誇り、感謝の心をもって国政の場にのぞんでまいりました。

郷里へのご恩を少しでもお返ししなくてはと思っておりますところ、鬼おにの霍乱かくらんで、

六、七年前より体調をくずし足腰が不自由であります。「日本の行く方」と「郷里岩手」を思う熱き心は今も脈々みやくみやくとして胸いっぱいです。

洋々たる人生の前途のある皆さんに、私には伝えたいことがあります。

それは「岩手県人の誇り」、「感謝の心」、「命の大切さ」そして、この東京の岩手県学生会館で学べる機会に恵まれたことを感謝しつつ人生の次の舞台へ大きく飛び立つ準備と英気を養っていただきたいと思えます。同じ一つの事でも、進取しんしゅの精神でのぞむのと否定的にとらえるのでは結果は大き

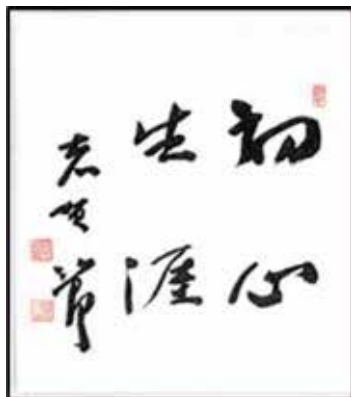
く異なります。風評に惑わず、自分でしっかりと判断することを学んでほしいと願っています。

私は微力ながら全力をあげて皆さんを応援してまいります。共にがんばりましょう！

代表理事略歴

岩手県出身 早稲田大学文学部卒
昭和47年 第33回総選挙で初当選、連続8回当選

同 53年 外務政務次官
同 55年 農林水産政務次官
同 56年 自由民主党国際局長
同 59年 衆議院通信委員長
同 61年 衆議院内閣委員長
平成元年 内閣官房副長官
同 国務大臣環境庁長官
同 5年 衆議院安全保障委員長
同 8年 自由民主党財務委員長
同 15年 勲一等瑞宝章に叙せられる
同 29年 岩手県学生援護会代表理事就任



平成29年度 公益財団法人岩手県学生援護会

理事会並びに評議員会報告

平成29年度公益財団法人岩手県学生援護会第2回理事会が5月8日(月)、永田町の都道府県会館にある岩手県東京事務所分室で開催されました。理事9名全員参加して開催された理事会では、平成28年度事業報告、同経過報告、同会館運営方針評価が事務局から提案され、満場一致で承認されました。次に平成28年度収支決算報告及び監査報告がなされ、審議した結果、満場一致で承認されました。さらに、代表として6年、4期の長きにわたりお務め戴いた鈴木代表から辞任の意向が示され、新たに志賀理事を代表に選任しました。それに伴い、業務執行理事には砂金理事を選任しました。

続いて5月25日(木)には評議員6名全員出席の下、第2回評議員会が岩手県東京事務所分室で開催されました。理事会同様に平成28年度事業報告、収支決算報告共に全員により承認されました。また、任期満了になる理事、評議員の再任も承認されました。

次に新役員並びに学生会館職員をご紹介します。

平成29年度 公益財団法人岩手県学生援護会役員

◎代表理事

志賀 節 (元衆議院議員)

◎副代表理事

太田知行 (在京岩手学生会会長代行)

◎業務執行理事

砂金良明 (TBSサンワーク執行役員)

◎理事

鈴木 勲 (日本弘道会会長)

村松 武 (ティ・エム・クエスト代表取締役)

瀬川爾朗 (東京大学名誉教授)

小松正之 (東京財団上席研究員)

佐々木裕二 (岩手県学生会館館長)

坂本已由 (社会福祉法人理事)

◎評議員

千葉健夫 (社会保険労務士)

石杜有慎 (岩手日報東京支社長)

石川健正 (岩手銀行東京営業部長)

川村瑞幸 (元JFEスチール課長)

柴田彩千子 (東京学芸大学准教授)

小野寺麻利子 (作家 藤沢摩彌子)

◎監事

平野 直 (岩手県東京事務所長)

◎相談役

増田寛也 (野村総合研究所顧問)

谷藤裕明 (岩手県市長会)

石原 弘 (岩手県町村会)

佐藤 博 (岩手県総務部長)

高橋嘉行 (岩手県教育長)

◎顧問

志賀かう子 (エッセイスト)

学生会館職員

◎館長

佐々木裕二

◎寮母

佐々木由美

◎書記

樺澤理恵子

主たる委託業者

・建物包括管理

二幸産業株式会社

・給食業務

株式会社グリーンハウス

・日常清掃

東京管財株式会社



殺風景なバルコニーにバラの花一鉢
皆さんそれぞれ生活に潤いを求めているの
です。

同期会開催(5・21)

入寮してから1ヶ月経って、お互いの生活を振り返ってみました。



男性はお酒も少々

県人のつどい(ホテルラングウッド)に参加

今年も岩手県人連合会総会並びに懇親会に招待されました。

自治会長の生内さん、副会長の高橋さん、沿岸代表として渡邊さん、県南代表の小山さん、そして会館だよりにも多く投稿してくれた谷村さんの五人が出席し、舞台を楽しみ、美味しい食事をいただけてきました。さらにはお土産に「銀河のしずく」をいただいで帰ってきました。

会館からの連絡

○夏休みが近づいてきました

諸届の励行をお願いします。特に外泊届は必ず提出してください。消息を知る上で大事なだけでなく、欠食分の清算にも響いてきます。途中での変更は電話一本で十分ですので帰省する前に必ず出すようにしてください。

○母校訪問について

前々号でも紹介しましたが、夏休み等で母校を訪問する方はぜひ会館のPRにご協力ください。

○ランドリーの使用について

皆さん一生懸命洗濯をしているのは好ましいことですが、乱雑な使い方が目に付くようになってきました。

その一つ、洗濯機を使い終わった後に洗濯物を放置しています。次の人が使えない状態です。仕方なく取り出して棚に並べておくのですが、すぐに取り込まないため生乾きのものが山になっていきます。異臭の原因ともなります。注意書きを貼っていますが見かねたおぼさんたち（清掃が入っている方々）が畳んでおいてくださっています。しかし、その結果、清掃業務の時間がかかり、必要以上の労働時間となっている状態です。一人ひとりのちょっとしたいや、当然すべき心がけを持って皆で快適に洗濯しましょう。



その二つ目、掃除は学生の皆さんもアルバイトで協力してもらっていますが、先日はやはりランドリーで大変な目にあつたという事です。それはティッシュを洗濯した人が洗い終わったティッシュを床一面にまき散らしたままにしてあつたという事です。ポケットを調べずに、間違つて洗うことは間々あることですが、肝心なことを忘れては困ります。間違いや失敗は誰にもあります。しかし、大事なことは責任を取るといふことです。片づけるのが当然でしょう。自分の失敗を人に補ってもらうなどというのは情けないことです。些事と思わず、大事を成す礎として身につけてほしいものです。

○盛岡一高校長川上圭一先生来館

昨年の平賀校長に続き盛岡一高の現校長川上圭一先生が全国校長会の合間を見て来

館されました。現在盛岡一高出身者は23名で、寮生の出身高校では一番人数が多い高校です。食堂、居室、ランドリーなど案内いたしました、「いいですねえ」を連発していました。



【編集後記】

会館だより3号をお届けいたします。新代表の下、役員・職員のみならず関係する方々一同、皆さんを支援して下さっています。期待に沿うべく、一層の奮励努力が求められるところで、大願成就、叩けよ、道は開かれん、です。

平成二十九年七月七日発行

編集並びに発行元 公益財団法人岩手県学生援護会

岩手県学生会館

同 学生会自治会

住所 東京都豊島区要町二丁目5番5号

TEL 03(3972)4783

FAX 03(6676)4471